

作用	分類	作用のしくみ	一般名	主な副作用
ブドウ糖の吸収をゆるやかにする薬	1 α -グルコシダーゼ阻害薬 (α -GI薬)	糖質からブドウ糖への分解を抑制して、血液中へのブドウ糖の吸収(血糖値上昇)をゆるやかにする。	アカルボース ボグリボース ミグリトール	お腹が張る おならが出る 下痢 肝障害など
インスリンの働きを改善する薬	2 ビグアナイド薬 (BG薬)	インスリンの働きが悪くなっているのを改善し、骨格筋でのブドウ糖の取り込みを亢進させる。また肝臓からの糖新生を抑制する。	メトホルミン ブホルミン	下痢 胃腸障害 乳酸アシドーシスなど
	チアゾリジン薬	インスリンの働きが悪くなっているのを改善する(肝臓や筋肉、脂肪組織)。	ピオグリタゾン	むくみ 心不全 体重増加 肝障害など
インスリンの分泌を促進する薬	3 スルホニル尿素薬 (SU薬)	膵臓に作用してインスリンの分泌を促進する。	第一世代 アセトヘキサミド グリクロピラミド クロルプロパミド	低血糖 体重増加など
			第二世代 グリベンクラミド グリクラジド	
			第三世代 グリメピリド	
	速効型インスリン分泌促進薬 (グリニド薬)	膵臓へのインスリン分泌をさせる作用の発現が早く、作用持続時間が短い。	ナテグリニド ミチグリニド レバグリニド	低血糖 体重増加など
4	DPP-4 阻害剤	DPP-4 を阻害してインクレチンの分解を抑制して、膵臓からのインスリン分泌を促進する。	シタグリブチン ビルダグリブチン アログリブチン リナグリブチン テネリグリブチン アナグリブチン サキサグリブチン	便秘など
	GLP-1 受容体作動薬 (注射剤)	インクレチンの一つである「GLP-1」を投与することにより、膵臓からのインスリン分泌を促進する。	リラグルチド エキセナチド リキシセナチド	便秘 吐き気など
5	SGLT2 阻害薬	原尿からブドウ糖を血液中へ再吸収するSGLT2の阻害により、ブドウ糖を血液中へ再吸収させず尿中から排泄させる。	イブラグリフロジン ダパグリフロジン ルセオグリフロジン トホグリフロジン	尿路・性器感染症 脱水など

α -GI: α -glucosidase inhibitor BG: biguanide SU: sulfonyl urea DPP-4: dipeptidyl-peptidase 4
 GIP: glucose-dependent insulinotropic polypeptide GLP-1: glucagon-like peptide 1 SGLT2: sodium-glucose transporter 2